

第一回 歌江茶会

世界と茶道

岐阜県恵那市岩村町にはお茶を嗜む文化があります。
しかしコロナの影響により、交流の機会が減っています。
岩村にはお茶会を楽しむ方が多くおり、
その中で木村邸の木村けいさんが茶室を作り、
町民のみなさんはそこでお茶を学んだという思い出があります。
私たちは岩村でお茶を学べる場、楽しめるきっかけを作り、
老若男女が、お茶会をする文化が続けられればと思います。
今回は、良縁により世界で活躍される中根 宗健氏と
南フランスより来日し、和菓子を研究し教職員として教えている
MAUREL Dorian氏をお招きし、肅々ではありますが、
お茶会を開催したいと思います。
初めての方、久方ぶりの方、岩村でお茶会をしませんか。



事前予約はコチラ

開催日 2024年 4/7 日

時間 10:00～16:00 (予約優先)

会場 木村邸 書院
(岐阜県恵那市岩村町329-1)

会費 1,000円 定員 1席5名

内容

1 薄茶席 ※椅子席での参加も可能です

一席目 10時00分～ 二席目 11時00分～

三席目 13時00分～ 四席目 14時00分～

感謝

完売

茶席での椅子 茶席での椅子は今の時代は失礼にあたりません。
正座が難しい方もお気軽にご参加下さい。

せきしゅう 石州流とは…

片桐石州(貞昌)を流祖とする武家茶道の流派の総称です。片桐石州は、四代将軍家綱の茶道指南役となり、以降江戸時代を通じて石州流が幕府の茶道として全国の大名によって広まることとなりました。
大口派は、片桐家の家臣、大西閑齋が大阪で茶湯指南をすところへ、大口樵翁が閑齋の門下に入り婿となり、その後、独立し大口派を開きました。

席主と和菓子職人の紹介

石州流大口派 高丘庵
そうけん

師範 中根 宗健(健次)氏

毎年、フランスニースでアジア美術館等からの要請に応じ、昨年はラグビーワールドカップ前に三笠宮彬子王女らを招き、市歓迎レセプションで茶道を披露しました。
宗健氏は、幕末から大正時代に存在した岩村の町問屋、木屋中根家の後裔です。



製菓衛生師(和菓子専攻)
モレル ドリアン

MAUREL Dorian 氏

南フランス・ラングドック地方出身。
19歳に来日し、日本語・和文化を勉強したのち京都の専門学校で和菓子の専門課程を卒業。2021年秋頃、福井県永平寺町で地元住民向けに京菓子講習会を開講。
現在も和菓子の修行・研究を続けつつ、卒業校で教職員として務めています。



主催 むのめ屋

協賛 岩村町観光協会

共催 木屋中根家

協力 和装和ごころ研究所

申し込み
問い合わせ

布目裕貴 [080-4222-8665]

中根浩之 [090-7805-4167]